

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030208142

病院施設番号： 030208

臨床研修病院の名称： 国立国際医療研究センター病院

臨床研修病院群番号： 0302081

臨床研修病院群名： 国立国際医療研究センター病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	国立国際医療研究センター病院内科系プログラム															
2. 研修プログラムの特色	<p>内科系プログラムは「内科系内科重点コース」(内科重点ローテーション)と「内科系診療科重点コース」(皮膚科、リハビリテーション科、放射線科の診療科重点ローテーション)の2つに分れる。</p> <p>① 内科重点コース： 将来内科医を目指す研修医を対象としたコースであり、医師としての基本的臨床能力に加え、内科医としての基盤となる幅広い臨床能力の修得が可能である。ローテーションは基本的には4週間を1クールとし、コア・ローテーション64週(内科必修18週、救急12週、外科8週、麻酔科6週、小児科、産婦人科、総合診療科、地域医療各4週)に7つの内科系診療科(4週間ごと計28週)が加わる。内科必修科目は消化器内科、呼吸器内科、循環器内科各6週である。この他に自由選択期間を8週設ける。自由選択で内科を選択すると、内科領域全てを網羅する内科系診療科フル・ローテーションが可能であり、内科専門医資格取得に必要な多くの症例を経験できる。</p> <p>② 診療科重点コース： 皮膚科・リハビリテーション科・放射線科を目指す研修医のためのコースである。医師としての基本的臨床能力に加え、各専門領域への導入部分を修得することが可能である。コア・ローテーション64週以外の期間に上記3診療科の研修を20週(4週×5)行うことにより、専門研修への円滑な移行が可能である。この他内科選択と自由選択期間を8週ずつ設ける。</p>															
3. 臨床研修の目標の概要	<p>①内科重点コース： 各内科領域を重点的にローテーションし、内科専門研修に進むための基盤となる幅広い臨床能力を身につけることを目標とする。</p> <p>② 診療科重点コース： 一般医としての基本的診療能力を身に付けつつ、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科などの研修を最長5クール(20週)行うことにより、専門研修への橋渡しを行う事を目標とする。</p>															
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)															
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。研修医2年目に施行されるレジデント選考試験に合格すると、引きつづき当院の基本領域専門研修プログラム(レジデント課程3年間)に進むことができる。															
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設(研修分野ごとの研修期間)</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称(病院施設番号)を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院施設番号</th> <th>病院又は施設の名称</th> <th>研修期間</th> <th>内一般外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(記入例) x x 科</td> <td>1234567</td> <td>〇〇 病院</td> <td>〇週</td> </tr> <tr> <td>必 内科</td> <td>030208</td> <td>国立国際医療研究センター病院</td> <td>18週 週</td> </tr> </tbody> </table>				病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	必 内科	030208	国立国際医療研究センター病院	18週 週
病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来													
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週													
必 内科	030208	国立国際医療研究センター病院	18週 週													

修 科 目 ・ 分 野	救急部門	030208	国立国際医療研究センター病院	12週	
	地域医療	106150	やごうクリニック	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週
		033948	新宿ヒロクリニック		
		031174	岩手県立東和病院		
		030781	岩手県立千厩病院		
		033131	高知県本山町嶺北中央病院		
		157825	JCHO 東京城東病院		
		033130	橋原病院		
		137314	渭南病院		
		157767	大井田病院		
168100		田野病院			
033149	大月病院				
096498	佐川町立高北国民健康保険病院				
031243	堀ノ内病院				
036382	秋田県仙北市立角館総合病院 聖母病院				
外科	030208	国立国際医療研究センター病院	8週	週	
小児科	030208	国立国際医療研究センター病院	4週	週	
産婦人科	030208	国立国際医療研究センター病院	4週		
精神科	030208	国立国際医療研究センター病院	4週		
一般外来 (総合診療科)	030208	国立国際医療研究センター病院	4週		
病院で 定めた 必修 科目	血液内科、感 染 症 内 科 (DCC、ACC)、 膠原病内科、 腎臓内科、神 経内科、糖尿 病内分分泌代 謝 内科 (内科重点コ ースの場合)	030208	国立国際医療研究センター病院	28週	
	皮膚科、リハビ リテーション 科、放射線科 のいずれか (診療科重点コ ースの場合)	030208	国立国際医療研究センター病院	20週	
	麻酔科	030208	国立国際医療研究センター病院	6週	
				週	
選択 科目	備考欄参照	030208	国立国際医療研究センター病院	8週	
				週	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約〇〇回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・〇〇週※但し、4週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・〇〇科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

1. 臨床病理検討会(CPC)：

センター病院にて隔月第4金曜日に実施する。

2. 地域医療研修：

やごうクリニック、新宿ヒロクリニック、岩手県立東和病院、岩手県立千厩病院、秋田県仙北市立角館総合病院、高知県本山町嶺北中央病院、渭南病院、大井田病院、田野病院、大月病院、佐川町立高北国民健康保険病院、堀ノ内病院、檜原町立国民健康保険榑原病院、**聖母病院**のいずれかで4週間の研修を行う。当院の方針として、地域医療での在宅診療は1週間、外来診療は1週間とする。

※高知県病院群の病院については、同一ターム中1名が高知県にあるいくつかの臨床研修協力施設中の1施設へ派遣する形で研修をする。各協力施設で完結する研修を実施する。

3. 救急研修：

コア・ローテーションにおけるブロック研修 12週を基幹型病院の救命救急センターで行う。

4. 内科系プログラム内科重点コースの必修科目

血液内科、感染症内科(DCC、ACC)、膠原病内科、腎臓内科、神経内科、内分泌代謝内科の内科系 7診療科の研修を行う。なお、各科目の研修順序については、各研修医の希望に基づき全体のバランスを考慮しつつ、可能な範囲で選択できる。

5. 内科系プログラム診療科重点コースの必須選択科目

コース必修選択科目：

皮膚科、リハビリテーション科、放射線科の3診療科から1科目を選択し、20週間のローテーションを行う。

6. 自由選択科目：

総合診療科、救急科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病代謝内分泌内科、膠原病科、神経内科、感染症内科(ACC)、感染症内科(DCC)、腫瘍内科、皮膚科、精神科、放射線科、リハビリテーション科、腹部・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、麻酔科、病理診断科、小児科、産婦人科、集中治療科(ICU)の中から1~2科目を選択し8週間の研修を行う。

